

みんなとの会話が
一番の薬かな。

名古屋市在住
内田 豊蔵さん

“ ”
認知症とともに生きる、
を発信していきます。

愛知県認知症
希望大使

認知症になっても、
わたしは、私!

名古屋市在住
近藤 葉子さん

認知症になると、何もできなくなるとは思っていないませんか？

日々の生活で困ったり、落ち込んだりすることもあります、日常生活における工夫や、周囲の方の支えにより、希望を持って暮らすこともできます。

愛知県

認知症希望大使とは

認知症の正しい理解を広めるため、2021年7月に、愛知県が2名の認知症の方ご本人に委嘱したものです。

どんな活動をするのか？

- 認知症の理解のためのイベントでの講演、広報誌などへの寄稿
- 専門職や支援者などの研修での講演
- 認知症の方ご本人やご家族への支援活動への参加 など

「認知症に理解の深いまちづくり」に向けて、同じ悩みを抱えた人に寄り添います。

愛知県認知症希望大使の紹介

うちだ とよぞう
内田 豊蔵 さん



考えていることが消えていく
なくしものをしてショックを受ける

日々同じようなことを体験している方も
多いと思います。
焦ると余計に脳がアッチコッチ
いってしまいます。

そんなときは深呼吸をして
落ち着いてみましょう。
落ち着くことがいちばん大事。
周囲の人はその人が落ち着くのを
待ってほしいのです。

75歳の時、アルツハイマー型認知症と診断される。認知症本人ミーティングへの参画、広報誌での市長との対談を始め、「当事者に前向きになってほしい」という思いで啓発活動に取り組まれています。

こんどう ようこ
近藤 葉子 さん



認知症は怖くない、
ということ
伝えたいです。
認知症になっても、
私はわたしだから。

51歳の時、若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在は認知症カフェのボランティア活動、認知症サポーターを中心とする交流会への参加のほか、劇団に所属するなど多方面で活躍されています。

愛知県認知症希望大使PR動画

大使のご紹介に加え、

- 認知症と診断されたときの気持ち
- どのように前を向けるようになったのか
- 周りの人ができること

など、大使に自らの経験談や希望を発信していただきました。

動画はこちらから視聴できます



愛知県認知症希望大使 動画



愛知県認知症
希望大使



活動紹介

大使は、色々なところで、地域の方と関わっています!

認知症の方ご本人、ご家族の交流会(春日井市)

ご本人、ご家族に分かれ、大使も交えて日々の暮らしや介護について感じることを話し合いました。

春日井市 地域支援課職員

「人に会って、楽しかったことを話すのに忙しい」生活が充実し、笑顔で前向きな内田さんが印象的だった!

春日井市

家族介護者支援NPOスタッフ

内田さんのイキイキとした姿がステキ! 家族の方々をサポートする場も一緒に作っていきましょう!



地域の支援者に対する講演(熱田区)

熱田区認知症サポーターフォローアップ講座にて、講演を行いました。

熱田区いきいき支援センター職員

講演後、オレンジリングを靴に付けてくれた参加者がいて嬉しかった!

熱田区いきいき支援センター職員

「私が少し先に認知症になったから、みなさんが認知症になっても安心できるまちづくりをする」という近藤さんの言葉が心に残った!



若い世代の皆さんも!

高校生に対する講演 (認知症サポーター養成講座)

講演の後、認知症に理解の深いまちづくりに向けて何ができるか、生徒同士でグループワークも行いました。



生徒からの手紙

困っていても不安で声を掛けられない人を知り、出かけるときはオレンジリングをつけようと思った!

担当された先生の声

見慣れた街で道に迷ってしまう恐怖感、友人から疎外されていく孤独感、そこから立ち上がった近藤さんに感動!

企業の皆さんも!

企業の職員向け研修

大使によるオンライン講演の後、社員の方から質疑応答が行われました。

参加された社員の声

- 大使と直接お話しし、自分と何も変わらない部分も多く認知症の方の印象が変わった!
- 「オレンジリングを見ると安心する」との言葉が印象的だった。「いきいきと暮らせる社会」に貢献したい!



一般の方向け イベント



「認知症県民フォーラム(オンライン開催)」にて、大使のトークショーを行いました。

視聴者の声

- 認知症の方も明るく前向きに過ごされていることが分かった。
- 認知症の人にも普通に接すれば良いのだと分かった。



“ 認知症のこと、一人で悩まないで!! ”

認知症についての相談窓口

- **地域包括支援センター**
市町村が設置する高齢者の総合相談窓口です。
- **かかりつけ医**
もの忘れが気になり始めたら、まずは身近なかかりつけの医師に相談しましょう。
- **認知症疾患医療センター**
認知症の専門医療相談・診断などを行う医療機関です。

詳細はホームページをご覧ください▶



- **愛知県若年性認知症総合支援センター**
若年性認知症の方のニーズに合った社会保障制度や関係機関につなぐ支援を行います。

☎ **0562-45-6207**

開設日 月曜日から土曜日(祝日、年末年始は除く)

開設時間 午前10時から午後3時

電話相談

認知症の相談について、どなたでもどこからでもご利用いただけます。

☎ **0562-31-1911**

開設日 月曜日から金曜日(祝日、年末年始は除く)

開設時間 午前10時から午後4時

運営 公益社団法人認知症の人と家族の会愛知県支部

愛知県認知症電話相談



ご本人、ご家族同士の交流

認知症の方ご本人やご家族の交流の場として、地域において様々な取組を実施しています。詳細は、お住まいの市町村(地域包括支援センター等)にお問合せください。

ピアサポート活動

同じ症状や悩みを持ち、同じような立場にある仲間=英語で「Peer」(ピア)=が、互いに体験を語り合い、支え合う取組です。

本人ミーティング

認知症の方ご本人同士が主になって、自らの体験や思いを気兼ねなく語り合い、これからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場です。

認知症カフェ

認知症の方やその家族が、地域の人や専門家とお互いに情報を共有し、お互いを理解し合う場です。認知症カフェには様々なところがあります。

など

オレンジリングをご存じですか?

～オレンジリングは、認知症サポーターの目印です～

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る人です。認知症のサポートをするためには、まずは正しく「知る」ことが大切です。認知症サポーター養成講座は、市町村などで実施されていますので、ぜひお問い合わせください。受講者には、オレンジリングなどが配布されます。



リングをしている人を見かけると、認知症の方はとても安心します!

お問合せ先

愛知県 福祉局 高齢福祉課 地域包括ケア・認知症施策推進室

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6310

FAX 052-954-6919

メール chiikihoukatu@pref.aichi.lg.jp

